がたくさんいらっしゃいますので、ご紹介させて頂きましょう。

Aさん　57歳女性

8年前に外反母趾で来店され、足底板を作製させて頂いた方です。

日常用とテニス用に2つ作製し、修理しながらずっと使って頂いておりましたが、今年3月、久しぶりにご来店頂きました。以前はなかった左の膝痛が3ヵ月前から出ており、整形外科で変形性膝関節症と診断されたとのこと。

左が若干O脚が強くなり、歩く様子を拝見すると膝が不安定になっておられましたので、使用中の足底板に膝のための機能を追加しました。しばらく試して頂いた結果、歩行が楽になり痛みも軽減したとのことで、もう一つの足底板もお直しさせて頂きました。

Bさん　67歳女性

10年前から外反母趾のために補正靴と足底板を使って頂いている方です。

以前から右の膝痛が時々出ておられましたので、右は途中でお直しをしていましたが、今年3月のご来店時には、今度は左膝の痛みがひどくなられ、膝の曲がりも悪い状態でした。

再検討の結果、左にもO脚・膝痛を予防する機能をその場でお付けして試して頂いたところ、痛みの具合が違い「歩くのがとても楽！」とのことでしたので、2つの足底板ともお直しをさせて頂きました。

その後、5月末に頂いたお便りでは、「4月、5月と順調です」との嬉しいご報告を頂きました。

変形性膝関節症によるO脚

変形性膝関節症の大きな原因の一つが「筋力の低下」ですから、痛みの軽減のためには病院や治療院での炎症を抑える治療に加え、何といっても筋力トレーニングが大切です。

膝痛のための足底板、補正靴は、そのトレーニングしなければいけない筋肉をなるべく使って歩くように、足のバランスを調整するのです。

また、O脚の強い方は、爪先が上がらなかったり、体がふらついたりしやすいものですが、このバランスの調整によって、爪先が上がりやすく、ふらつきも少なくなって歩きやすくなるのです。

歩きやすくなった足底板や補正靴を使うことで歩行量が増え、それがまた筋力アップにつながり、「いつの間にか痛みがなくなった」ということも珍しくありません。

会員の皆様にお知らせしている「6ヵ月チェック」は、ご使用後の足の状態はもちろんのこと、脚や上体のバランスの変化等もチェックし、常にベストの状態で歩いて頂けるようにアフターケアさせて頂くシステムです。

特に膝に問題が出ておられる方は、ぜひ再度のご来店をお勧めしたいと思います。

おたよりから

桜が咲きました。
六ヵ月チェックのご案内ありがとうございました。
平成十七年十月、不全骨折と大腿骨骨折により療養七ヵ月、今は家の中では歩行器と車イスで生活しています。週一回ディ・ケアにも通っております。
エルデさんの靴で歩けたことが幸せでした。
大変おせわになり、ありがとうございました。
皆さんへ良い靴を作ってあげて下さい。
ご活躍をお祈り致します。

脳梗塞による片麻痺のため、4年前に靴と室内用の装具をお作りした74歳の女性のお客様からのお便りを紹介させて頂きます。

麻痺のある足は歩行時に足底が緊張して外へ傾くので、足首をしっかり固定する装具と、これを付けて履いて頂く外用の靴をご提供しました。

ご遠方からのご来店でしたが、靴が完成するまでの何度かのお直しに、また、使用後の6ヵ月チェックにと、歩行器を押してお嬢様と一緒に何度もご来店頂きました。

少しでも楽に歩けるようになりたいとの積極的な姿勢をお持ちでしたので、細部にわたるお直しをさせて頂くこともでき、その結果、具合良く履いて頂ける靴と装具ができ上がり、喜んで頂くことができました。

熱心にお越し頂いていましたのに、しばらくご連絡がありませんでしたので、どうされておられるかしらと思っておりましたところ、お便りをちょうだい致しました。

お客様の「歩きたい」という強いご希望が、私共の技術の向上にもつながっていきます。いろいろとありがとうございました。

どうぞ、これからも前向きの姿勢で進んで下さいますように！